

おはようございます。2番市民クラブの久保田隆二です。

まずはじめに、議長のお許しを頂きまして、一般質問に入る前に新人議員として一言挨拶をのべさせて頂き
ます。今年3月に行われました三沢市議会議員選挙におきまして、初当選させて頂きました事を、感謝申し上
げるとともに、これからの4年間、皆様方の教を請いながら、誠心誠意、活力あるまちづくりに取り組んで
まいります。

それでは、本題に戻り、通告に従いまして一般質問をさせて頂きます。

近年、IT時代におけるデータ活用の重要度は高まりつつあります。民間事業者においても「ビックデータ」
と呼ばれる大量のデータから課題解決をするスペシャリストが現れ、各業界で活躍されています。

当然、これからの行政でも、「データ活用」は必須の知識・技術になる事が予想される事から、今後の三沢
市での「データ活用」の方針を次の通り、質問させて頂きます。

1) データを使った市民等とのコミュニケーションについて

⇒これは市民の意見を収集し、その収集された市民意見をデータ化して、最後にそのデータをいかに政策に反
映させるかという事についてです。

市民向けの行政サービスを作る際に、当然便利なサービスを作る必要があります。自己満足なサービスや計
画ですと、無駄なコストがかかりますし、市民満足度も当然下がります。しっかりと市民の気持ちよりそった
計画やサービスを常に作る必要があると考えています。

民間の世界においても、例えば何か商品を作る際に、まずはアンケート等で市場全体を調査して、
その市場調査の結果をデータにして、分析し、最後に分析されたデータを商品開発に活かす場合が多くありま
す。

ですので、三沢市政におかれましても、この仕組みを活用していく必要があると考えておりました、まずは
STEPの1番として、いかにアンケート等により市民の意見を多く集めるか、そしてSTEPの2番として、「そ
の集められた市民意見をいかにデータ化するか」、最後にSTEPの3番として、いかにデータの結果を行政サ
ービスや計画等に反映させるか?という事。この3段階のSTEPを上手く活用できれば、無駄なコストをか
けずに、市民満足度の高い行政サービスや計画を作る事ができるのと考えますが

データを活かした市政運営について、今までの取り組みや今後の方針について、お聞かせ頂きたいと思いま
す。

2) 各部署でのデータでの目標値管理や公表について

⇒先ほど3段階のSTEPの説明をさせて頂きました。市民の意見を集め、データにし、行政サービスに反映さ
せる事が重要と述べましたが、それと同等に重要であるのが「目標値管理」であると考えています。目標がな
いものは何を改善するのか不明なためです。データを活かす事とセットで目標値を管理する事は重要な考え
方であると感じます。また目標値やその達成状況を市民の皆様様に公表していく必要もあると感じられます。

現状の三沢市全体の計画の目標値管理、そして公表について、今までの取り組みや今後の方針について、質
問させて頂きたいと思います。

3) 各部署でのデータ活用人材の教育や外部人材との連携について

⇒市民意見をアンケート等で取得しても、その市民意見をデータ活用出来ないという意味がなく、市民意見をデー
タに変換する事と、そのデータから行政サービスをより良くする方法を考える事が重要であると感じます。デー
タ活用事例を定期的に職員さんが勉強するような仕組みを構築したり、外部人材を上手く活用し、データ分
析業務を行えば、データに強い三沢市政を作り出せると感じますが、

今後の三沢市の方針をお聞かせ頂きたいと思います。

以上で、私の一般質問を終了致します。御答弁、よろしくお願ひいたします。